

自己評価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
学力の育成	(全校レベル) 1) 規律ある授業の実施に努め学習態度と意欲の向上に努める  (下位組織レベル) 1) 基礎学力の向上を行う 2) 教科指導の充実とレベルアップを行う	評価指標 1) 生徒の授業満足度調査 80%以上 2) 授業実施時間数の状況調査 1単位27時間以上 3) 生徒の成績状況調査 年2回以上 4) 漢字検定実施状況調査 11回 5級以上 80%以上 5) マナトレ(数学補習)実施状況調査 20回 C-Eランク 75%以上 6) 計画的な職員研修の実施状況 研究授業 3回以上 授業力向上職員研修会 1回以上  活動計画 1)-1成績不振者に対するきめ細かな指導に努める。 1)-2追試・補講を実施して強力的に指導を行う。 2) 授業時間を集計し授業時間の確保に努める。 3) 実力テストを実施して学力の実態把握を行う。 4) 漢字検定を実施して読み書き力の養成に努める。 5) 数学学び直しを実施して計算力の養成に努める。 6)-1年間指導計画を作成し、効果的な教育内容の構築を図る。 6)-2教職員研修計画を作成し指導力の向上を図る。
学力の育成	(全校レベル) 1) 読書力の向上を図る。  (下位組織レベル) 1) 読書活動の推進に努める。 2) 読書環境の充実に努める。 3) 「読書の日」を設け意識の向上を図る。	評価指標 1) 校内図書館の読書冊数の増減率 10%以上 2) 読書の生活化プロジェクトⅢにおける家庭での平均読書時間 10分以上 3) 蔵書数の増加率 5%以上 4) 図書室通信の発行 年6回以上 5) 「読書の日」の実施 年11回 6) 購入希望図書アンケートの実施 年10回  活動計画 1) 読書の日を毎月1回設定し、教職員に本を選定してもらう。 2) 家庭読書週間を設定し家庭への啓発を行う。 3) 生徒のニーズにあった図書を購入し蔵書の充実に努める。 4) 図書だよりを通して、新刊図書など最新の情報を提供する 5) 推薦図書コーナーの充実に努める。 6) 購入希望図書アンケートをもとに購入した本のコーナーを設置する。
生活力の育成	(全校レベル) 1) 基本的な生活習慣の確立を図る。 2) 生命尊重の意識の高揚と交通事故の撲滅を図る。  (下位組織レベル) 1) 保護者との連携を密にし、相互理解の上で指導の充実に努める。 2) 遅刻・欠席指導の徹底を図る。 3) 身だしなみ指導の徹底を図る。 4) 登下校指導を行う。 5) 交通安全指導の徹底を図る。	評価指標 1) 家庭訪問実施回数 150回以上 2) 遅刻者・欠席者の増減率 -20% 3) 身だしなみ検査延べ指導者数 -20% 4) 車両定期点検の実施回数 5回以上 5) 交通事故加害者数 0人 6) いじめ問題件数 0件  活動計画 1) 家庭訪問を実施する。 2)-1遅刻カードを使い確実に遅刻者を指導する。 2)-2無断遅刻・無断欠席数調査を月末集計し、多い者への改善指導を徹底する。 3) 毎月初めに頭髪・服装等身だしなみ検査を実施して指導を徹底する。 4)-1車両登録をさせ、毎月の点検と学期毎に集会を行い交通事故を未然に防ぐ。 5)-1免有者に対して視聴覚教材を用いた指導を行う。 5)-2登下校指導計画を作成し指導を行う。(あいさつ、遅刻、服装) 5)-3全教職員一斉による通学路の危険箇所における交通安全指導を行う。 6)-1いじめ問題の早期発見を行う。(アンケート調査の実施) 6)-2いじめ問題の早期解決を行う。(事後指導の確認)

<p>生活力の育成</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>1)教育相談活動の充実と生徒支援に努める。</p> <p>2)生徒一人一人を理解し、個々の生徒のニーズに応じた支援を進める</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)教育相談体制（特別支援を含む）の充実を図る。</p> <p>2)生徒理解を進めるために各種検査を効果的に実施する。</p> <p>3)特別支援教育職員研修の充実を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)教育相談体制の充実 教育相談日を設けカウンセリングを行う。30日（回）</p> <p>2)各種検査（教研式高校知能検査・学級満足度調査Q-U）による生徒理解</p> <p>3)職員研修における職員の満足度 アンケートで70%以上が満足</p> <p>活動計画</p> <p>1)教育相談日を設けカウンセリングを行う。次のことに配慮する。 ①教職員への親しみやすさ ②教職員への相談の満足 ③教職員との信頼関係</p> <p>2)-1各種検査を実施し生徒の困難さに気づき、問題を把握し、問題解決に向けて取り組む。</p> <p>2)-2それぞれの生徒の能力を把握し、基礎学力向上に向けた取組を行う。</p> <p>3)職員研修を1学期・2学期に実施する。</p>
<p>生活力の育成</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>1)道徳教育と関連させ人権尊重の精神を基盤とした教育活動に努める。</p> <p>2)日々の生活や研修等を通じ、教職員自身の人権意識を高め指導力の向上に努める。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)人権教育ホームルーム活動の充実を図る。</p> <p>2)「学校人権の日」の取組の充実を図る。</p> <p>3)人権教育教職員研修の充実を図る。</p> <p>4)道徳教育ホームルーム活動の充実を図る。</p> <p>5)いじめ防止に等に関する具体的な取組を行う。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)「人権学習ホームルーム活動」実施 回数5回・生徒の理解度 90%以上</p> <p>2)「学校人権の日」における生徒の充実度 90%以上</p> <p>3)人権教育教職員研修・年3回以上実施。校外人権教育研修等に全教職員、1回以上参加</p> <p>4)道徳教育ホームルーム活動を年間2回実施。各学期、道徳教育週間5日間実施。</p> <p>5)学校生活アンケート毎学期実施・生徒の満足度100%</p> <p>活動計画</p> <p>1)人権教育課とホームルーム担任との連携で教材を作成し、ホームルーム活動の充実と推進を図る。</p> <p>2)人権委員会（生徒）が主体的に「学校人権の日」を運営する。当日の啓発の中心となるよう人権委員の事前指導を行う。毎回ふり返しシートを実施する。</p> <p>3)講義形式による研修のほかに、ワークショップ形式や視聴覚教材等も利用した研修を行い充実を図る。</p> <p>4)道徳教育の視点を全教職員に提示し道徳教育週間を実施する。</p> <p>5)いじめ未然防止・早期発見への取組を充実させるとともに、各学年・各課との連携により組織的な対応を図る。</p>
<p>生活力の育成</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>1)特別教育活動の充実を図る。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)ホームルーム活動の活発化を図る。</p> <p>2)各種専門委員会活動の推進を図る。</p> <p>3)生徒会活動・部活動の活性化を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)ホームルーム活動満足度 85%以上</p> <p>2)生徒会の活動状況 学校行事の満足度 85%以上</p> <p>3)各種専門委員会の活動状況 年間活動回数 6回以上</p> <p>4)部活動の加入状況 80%以上</p> <p>活動計画</p> <p>1)よりよい人間関係づくりに努める。</p> <p>2)-1生徒会活動の活性化を図り活動計画を作成し充実を図る。</p> <p>2)-2前夜祭実行委員会の活動の充実を図る。</p> <p>3)各種専門委員会の活動の充実を図る。</p> <p>4)部活動の充実に取り組む。</p>
<p>生活力の育成</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>1)環境教育の推進を図るために、三好高校エコスクールの推進と新学校版環境ISOの推進を実践する。</p> <p>2)学校防災教育の推進を図るとともに、地域防災との連携を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>1) 新学校版環境ISOの総合評価レベル15以上</p> <p>①美化活動・エコ活動の達成度 90%以上</p> <p>②節電昨年度比 10%減少 廃油の公用車等への利用 100%</p> <p>2) 学校防災の実践活動における実施時数 6時間以上</p> <p>①HRにおける防災・救急救命学習時間の実施 100%</p> <p>②防災避難訓練実施 校内1回、地域との連携活動1回以上</p> <p>活動計画</p> <p>1)</p> <p>①-1校内外の清掃美化実践をする。</p> <p>①-2施設設備の補修等即対応する。</p>

生活力の育成	<p>(下位組織レベル)</p> <p>1)校内外の美化活動を推進する。</p> <p>2)省エネルギー・リサイクル運動を推進する。</p> <p>3)防災学習の充実</p> <p>4)防災訓練の充実</p> <p>5)環境防災委員会を設置し教職員生徒の防災意識向上及び防災リーダー育成を行う。</p>	<p>①-3ゴミの分別100%を目指す。</p> <p>②-1エコキャップ・廃食油の回収と活用を実践する</p> <p>②-2毎月の電気使用量についてデータを配布する。</p> <p>②-3こまめな消灯の徹底など啓発活動を行う。</p> <p>2)</p> <p>①-1防災学習をして意識を高める。</p> <p>①-2救急救命の適切な指導をする。</p> <p>②-1有事の際に対応できる防災避難訓練を計画。</p> <p>②-2災害発生時の生徒・職員の生命・身体の安全を確保を目的とした防災研修を実施する。</p> <p>②-3地域との連携を図り，合同訓練の実施を計画・実践する。</p>
生活力の育成	<p>(全校レベル)</p> <p>1)生徒一人一人が健康で安全な学校生活をおくる保健厚生への取組の充実を図る。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)個々の健康管理を支援する。</p> <p>2)健康教育の充実に努める。</p> <p>3)性に関する指導を推進する。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)保健室利用状況 前年度以下</p> <p>2)保健関係ホームルーム活動 各学年・年2回以上</p> <p>3)保健だよりの発行 年12回</p> <p>4)①健康状態の把握 90%以上 ②疾病やけがの手当等の理解度 90%以上</p> <p>5)性に関する指導の理解度 90%以上</p> <p>6)救命救急法等の研修実施 年1回以上</p> <p>活動計画</p> <p>1)生徒の実態に応じた保健指導を行うとともに，保健室の利用について指導を行う。</p> <p>2)健康教育ホームルーム活動，性に関するホームルーム活動を計画的に実施する。</p> <p>3)学校ホームページや生徒への配布物を通して，健康に関する情報発信を行う。</p> <p>4)生徒の健康課題や保健室の実態を保健指導に生かし，生活の改善を図る。</p> <p>5)各学年において系統的な性に関する指導を実施するため，年間計画を策定し，関連する各教科と連携を図る。</p> <p>6)救命救急への適切な指導を行う。</p> <p>1)~6)学校保健・安全計画を作成し，計画的な指導を行う。</p>
キャリア教育	<p>(全校レベル)</p> <p>1)一人ひとりの生徒の能力適性を生かした進路の実現のための進路指導・キャリア教育を推進する。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)生徒の進路希望の把握と進路意識の高揚に努める。</p> <p>2)進路情報の提供を丁寧に継続的に行う。</p> <p>3)事業所・進学先・ハローワーク・市役所等との連携に努める。</p> <p>4)生徒の実態把握に努め，学力向上を推進する。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)3年生進路内定率 100%</p> <p>2)2年生終了時の進路希望未定者 0</p> <p>3)進路希望調査 年間2回以上</p> <p>4)面接回数 一人あたり3回以上</p> <p>5)進路ホームルーム活動 年間3回</p> <p>6)保護者への情報提供 3回以上</p> <p>7)進路説明会の満足度 80%以上</p> <p>8)事業所訪問 30社以上</p> <p>9)進路補習への参加率 80%以上</p> <p>10)マナトレ実施状況 ①実施回数 15回以上，②7級合格率 80%以上</p> <p>11)効果的な進路講演会の実施 3年生3回(4, 5, 12月)</p> <p>活動計画</p> <p>1)個人・三者面談等を積極的に企画。3学年団との協力を密にする。</p> <p>2)面談の結果から進路指導の基礎資料を作成する。</p> <p>3)定期的に進路希望調査を行う。</p> <p>4)効果的な面接方法についての資料提供等を行う。</p> <p>5)進路ノートを活用し3年間の系統的なホームルーム活動を実施。また効果的な資料も提供する。</p> <p>6)進路説明会の資料を充実させる。</p> <p>7)これまでに関係のあった事業所同様，新規開拓にも力を入れる。</p> <p>8)公務員模試・適性検査等を実施し進路意識を高める。</p> <p>9)マナトレ学習帳を各自使用し，個々の学習進度に応じたトレーニングに励ませる。</p> <p>10)適切な時期に適切な話をしてもらえる講師を探し，生徒の心に訴えるような講演会を企画する。</p>

<p>農業教育の発展と充実を図る</p>	<p>(全校レベル) 1) 特色ある農業教育の推進を図る。 2) 地域産業の担い手育成に関する地域連携を推進する。</p> <p>(下位組織レベル) 1) 地域連携の推進を図る 2) 教職員の資質向上を図る 3) 資格取得の推進を図る 4) 農業クラブ活動の活性化を図る</p>	<p>評価指標</p> <p>1) 特産品の開発と普及 (4品目以上) 2) 農業科授業研修の実施 年間3回 3) 学校開放講座参加者の満足度 90%以上 4) 農業技術検定合格率 80%以上 5) 学校農業クラブでの成果 県予選3種目以上入賞 6) 地域と連携した取組の推進 年間40回以上 7) 授業に対する生徒の満足度 80%以上</p>
<p>商業教育の充実・発展</p>	<p>(全校レベル) 1) 生徒一人ひとりの理解力と興味関心に応じた授業の工夫により生徒の学習に対する意欲を高める。</p> <p>(下位組織レベル) 1) 商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる 2) 各種検定・資格の取得を積極的に推進する。 3) 実践的・体験的学習を充実させる</p>	<p>評価指標</p> <p>1) 授業評価による生徒の授業満足度 85%以上 2) ワープロのタッチメソッド操作 100% 3) 3年生の3種目以上1級検定合格率 40%以上 1・2年生の各検定合格率 90%以上 4) 販売実習の実施 10回以上 5) 競技会の全国大会出場 3大会</p>
<p>開かれた学校づくりの推進</p>	<p>(全校レベル) 1) 教育活動の公開及び情報発信により本校教育への理解と関心を高める</p> <p>(下位組織レベル) 1) 小中学校へ情報発信を行う。 2) 地域社会との連携による諸行事に参加し学校の活性化に取り組む。 3) 学校Webページを活用して情報発信に努める。 4) P T A活動の活性化に取り組む。</p>	<p>評価指標</p> <p>1) 学校Webページの情報発信状況 年間50回以上 2) 本校行事等に対する報道機関等の取材回数 20回以上 3) 文化祭(楓祭)での来校者の満足度 70%以上 4) 学校開放講座の参加者の満足度 100% 5) 保護者の学校行事等への参加状況 年間100人以上</p> <p>活動計画</p> <p>1) 担当者との連携を図る。 2)-1幼稚園、小学校に食農教育の教材の提供を行う。 2)-2地域の文化祭等の催し、行事に参加をして本校教育の理解を図る。 3) 楓祭において、販売・展示の充実を図る。 4) 体験入学、開放講座などを実施して本校教育への理解を図る。 5) 役員会等の活性化を図り、参加者の増加を進める。</p>